



松山東雲女子大の入学生を代表して宣誓する地域イノベーション専攻の宇都宮さん

松山東雲女子大・短期大の入学式が2日、松山市桑原3丁目の学内チャペルであった。デジタル人材育成へ本年度からスタートする「地域イノベーション専攻」（女子大人文学部心理子ども学科）の入学生14人を含む計240人が、それぞれの夢に向かって一歩を踏み出した。

ワイドえひめ

夢へ未来へ学ぶ歩む

松山東雲女子大・短大 240人 志胸に入学式

式で高橋圭三学長は「夢を捨てずに、夢におぼれないことを心に留めて追い続けてほしい。失敗を恐れず、常に新たな問いを探求する経験と勉学の旅が始まる」と激励した。地域経済の活性化に役立ちたいと地域イノベーション専攻に入った宇都宮結乃さん(18)が女子大新入生代表として宣誓。「ITパスポートの資格取得と地域課題の発見、分析、解決方法の提示ができるようになることが目標。多様な人々とつながれる人材へと成長していきたい」と意気込みを述べた。短大入学生代表で食物栄養学科の坂本未来さん(18)は「どんな困難があっても前向きに笑顔を忘れず仲間同士励まし合い、専門分野で自分たちの夢をかなえられるよう努力する」と誓った。データサイエンスなどを学ぶ地域イノベーション専攻の新設に伴い改装した教室で、オリエンテーションもあった。入学者は大学60人(編入7人含む)、短大180人。(大津貴志)



改装した教室でオリエンテーションを受ける地域イノベーション専攻の学生